

国内外のさまざまなパビリオンが林立していた大阪万博 その中でも異彩を放っていたのが この「ガスパビリオン」です 「ガス協会」がガス文化について総合的に紹介するのが目的なのですが テーマは「笑いの世界」 そのテーマ通り 何ともユーモラスな外観です 私はこのパビリオンも思い出の中にあります 中に入ったかどうかは記憶にないですが 「お餅が笑ってる」とゆびさしたのを なぜか鮮明に覚えています 今東京に再現してくれたら絶対行くと思います



これが完成した絵です



1、雲は下部に影をつけます 影は薄いブルー・グレーが適当



2、遠くの雲(積雲)は少しずつ小さく 遠近感を



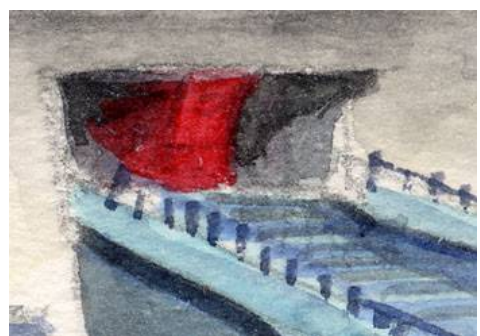
3、屋根のとがった部分は影をつけて立体感を



4、「顔」の部分が重要 特に「目」を慎重に



5、建物の丸い立体感は影のグラデーション これが一番難しいです



6、入口と階段 これも奥行きと立体感を意識して